



## 2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月15日

上場会社名 株式会社ガーデン 上場取引所 東  
 コード番号 274A URL <https://gardengroup.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川島 賢  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 小澤 修三 TEL 03 (5361) 8003  
 半期報告書提出予定日 2025年10月15日 配当支払開始予定日 2025年11月28日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト及び個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	8,823	3.5	804	△22.8	754	△23.7	496	△21.2
2025年2月期中間期	8,521	—	1,041	—	988	—	629	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	72.16	64.23
2025年2月期中間期	125.98	—

（注）当社は2024年2月期中間期については、四半期財務諸表を作成していないため、2025年2月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期中間期	18,083	7,813	43.2
2025年2月期	15,867	7,953	50.1

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 7,813百万円 2025年2月期 7,953百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	90.00	90.00
2026年2月期	—	45.00	—	—	—
2026年2月期（予想）	—	—	—	45.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,290	6.6	2,050	10.8	1,930	12.1	1,320	9.3	190.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年2月期中間期	6,882,810株	2025年2月期	6,878,645株
2026年2月期中間期	一株	2025年2月期	一株
2026年2月期中間期	6,881,190株	2025年2月期中間期	5,000,000株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、国内において雇用や所得の改善により景気が緩やかに回復する一方で、原材料価格や燃料価格、物価の上昇等が個人消費に影響しました。

外食産業におきましても、仕入価格や光熱費の高騰、人手不足による人件費の上昇といった要因により収益を圧迫しております。また、春先から観測史上初を何度も更新するような猛暑による消費行動の抑制もみられ、特に主力のラーメン事業が売上の約7割を占める当社においては、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は「イマをHAPPYに！」という企業理念、「HAPPYな空間の提供」という経営理念のもと、「共に働く従業員」「お客様」「株主」「社会(への貢献)」に対する想いを会社全体で共有し、ステークホルダーをHAPPYにし、目的や夢を達成させるために、さらなる強いハートをもって具現化してまいります。

日々の営業におきましては、QSCA(クオリティ・サービス・クレンリネス・アトモスフィア)の改善・向上とアンケート等によるお客様の声を店舗運営に生かすべく、課題と向き合っております。また、従業員の働きやすい環境作りを目指して、過去の実績やM&Aにより積み上げられたノウハウを集約したマニュアルを整備しております。新入社員の初期教育制度も確立し、本配属後の早期戦力化および離職の改善を目的としております。

物価高に対応する施策として、原価率は低いものの満足感を高く感じていただける商品を導入いたしました。商品の段階的な値上げも進めてまいりましたが、その一方で「ブランドの日」や「お客様感謝祭」「周年記念祭」などの名目で、月に数回、メイン商品を安価で提供するフェアを開催しております。これらのフェアは、ホームページ内のブランドオフィシャルサイトおよびブランド別に運用しているスマートフォンアプリで情報を発信しております。また、スマートフォンアプリでは、アプリ会員限定のお得なスタンプカード機能や割引クーポンを導入し、既存顧客の来店動機を高める取り組みを行っております。

商品販売につきましては、各ブランドにおいて、季節限定メニューや期間限定メニューを提供しております。

壺角家ブランドでは、従来の冷やし中華に代わる夏の新品として、牛ベースの特製スープにもやし・キャベツとマー油をトッピングした「冷壺郎(ひやしいちろう)」を6月～8月の期間限定で販売し、好評につき1か月期間延長を決めております。

山下本気うどんでは、油そばからインスパイアを受けた新ジャンルうどん「元祖 油うどん」を8月～9月の期間限定で販売し、10月よりブランドメニュー化いたしました。特製たれにうどんを絡ませ、アクセントに風味豊かな焼き煮干しの粉末をトッピングし、半熟卵と混ぜ合わせればマイルドになり味の変化が楽しめる一品です。

販売促進策につきましては、話題性のある取り組みに力を入れており、壺角家では8月に人気漫画を原作としたテレビアニメ「ラーメン赤猫」とのコラボレーションを開催いたしました。一部の店舗において、作中に登場するキャラクターとのフードやドリンクのコラボメニューに加えて、オリジナルグッズの販売を行いました。

さらに当社の上場を記念して、7月中旬～9月上旬に期間限定で販売した「壺角千金“株”ラーメン」はワイドショー等で取り上げていただきました。味玉やチャーシューといったトッピングが多く乗った「MAXラーメン」をバージョンアップした商品で、金の器に金色の海苔7枚とトッピングの上に散りばめた金箔が目を引く商品です。

これらの新品やコラボ企画などが、メディアやSNSを通じて発信いただく機会が増えております。各種取材依頼もございますので、知名度向上や潜在顧客獲得に向けて、積極的に取り組んでまいります。

店舗出退店の状況につきましては、6店舗出店(直営5店舗、FC1店舗)、4店舗退店(業務委託1店舗、FC3店舗)した結果、当中間会計期間末の店舗数は197店舗(直営166店舗、業務委託1店舗、FC30店舗)となりました。直営店の新規出店内訳は壺角家4店舗、山下本気うどん1店舗です。出店計画に対し、壺角家は1店舗不足しておりますが、物件引渡し都合により9月に出店することになったためです。山下本気うどんは、出店計画に対し2店舗の不足ですが、第3四半期以降での出店予定が現段階で2店舗ございます。一方FCの新規出店は山下本気うどん、退店は壺角家1店舗、肉寿司2店舗および業務委託のすためし1店舗でございました。

以上の結果、当中間会計期間における売上高は8,823百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益804百万円(前年同期比22.8%減)、経常利益754百万円(前年同期比23.7%減)、中間純利益496百万円(前年同期比21.2%減)となりました。

なお、当社は飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## （2）当中間期の財政状態の概況

## （資産）

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて2,216百万円増加し、18,083百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,796百万円増加、売掛金が146百万円増加、敷金及び保証金が206百万円増加したこと等によるものです。

## （負債）

当中間会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて2,356百万円増加し、10,270百万円となりました。これは主に、長期借入金が2,523百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が165百万円増加した一方、社債が409百万円減少したこと等によるものです。

## （純資産）

当中間会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて140百万円減少し、7,813百万円となりました。これは主に、中間純利益496百万円の計上により利益剰余金が増加した一方で、配当金の支払いにより619百万円減少したこと等によるものです。

## （3）当中間期のキャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は12,456百万円となり、前事業年度末に比べて1,796百万円増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における営業活動の結果、獲得した資金は747百万円（前年同期は553百万円の獲得）となりました。これは主に、税引前中間純利益752百万円の計上、減価償却費180百万円の非資金的費用があった一方、売上債権の増加額146百万円があったこと等によるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における投資活動の結果、支出した資金は484百万円（前年同期は445百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出255百万円、敷金及び保証金の差入による支出211百万円があったこと等によるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間における財務活動の結果、獲得した資金は1,532百万円（前年同期は320百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入3,900百万円があった一方、長期借入金の返済による支出1,211百万円、配当金の支払額605百万円があったこと等によるものです。

## （4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間会計期間における業績は、概ね当初計画通り推移していることから、2025年4月14日の「2025年2月期決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はございません。なお、今後の業績等につきまして、通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当中間会計期間 (2025年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,660,027	12,456,766
売掛金	531,629	677,941
棚卸資産	59,681	62,213
前払費用	267,915	292,754
未収入金	20,141	32,506
その他	124,883	171,733
貸倒引当金	△3,270	△2,457
流動資産合計	11,661,009	13,691,458
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,700,349	1,739,846
構築物（純額）	6,111	5,672
機械及び装置（純額）	14,766	13,242
工具、器具及び備品（純額）	389,022	380,995
リース資産（純額）	488	290
建設仮勘定	1,541	21,625
有形固定資産合計	2,112,280	2,161,671
無形固定資産		
商標権	71,798	66,359
のれん	44,476	35,096
ソフトウェア	5,707	6,532
その他	5,605	5,605
無形固定資産合計	127,588	113,594
投資その他の資産		
投資有価証券	172,800	146,640
長期前払費用	86,909	83,573
敷金及び保証金	1,378,910	1,585,392
繰延税金資産	205,726	195,853
その他	625	442
投資その他の資産合計	1,844,971	2,011,902
固定資産合計	4,084,840	4,287,168
繰延資産		
社債発行費	121,420	104,782
繰延資産合計	121,420	104,782
資産合計	15,867,269	18,083,408

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当中間会計期間 (2025年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	386,781	438,033
短期借入金	66,640	—
1年内償還予定の社債	842,000	810,000
1年内返済予定の長期借入金	1,290,653	1,456,069
リース債務	77,459	55,104
未払金	633,814	776,117
未払費用	39,097	37,992
未払法人税等	353,879	303,028
前受金	26,554	27,001
預り金	60,561	88,289
賞与引当金	118,586	124,755
その他	194,240	150,357
流動負債合計	4,090,268	4,266,748
固定負債		
社債	2,235,000	1,826,000
長期借入金	1,161,776	3,685,015
リース債務	40,468	18,708
資産除去債務	248,963	253,155
その他	137,189	220,443
固定負債合計	3,823,397	6,003,321
負債合計	7,913,666	10,270,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,378,442	2,379,284
新株式申込証拠金	17	—
資本剰余金	2,669,342	2,670,184
利益剰余金	2,790,153	2,667,635
株主資本合計	7,837,955	7,717,104
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	115,647	96,233
評価・換算差額等合計	115,647	96,233
純資産合計	7,953,603	7,813,338
負債純資産合計	15,867,269	18,083,408

## (2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	8,521,015	8,823,042
売上原価	2,471,161	2,669,386
売上総利益	6,049,853	6,153,656
販売費及び一般管理費	5,007,966	5,348,993
営業利益	1,041,887	804,663
営業外収益		
受取利息	490	11,689
受取配当金	432	528
助成金収入	1,707	1,937
自動販売機収入	2,412	2,404
その他	12,567	12,579
営業外収益合計	17,610	29,138
営業外費用		
支払利息	24,091	37,320
社債利息	8,781	12,248
支払手数料	12,778	3,795
社債発行費償却	19,179	21,215
その他	6,165	5,082
営業外費用合計	70,996	79,662
経常利益	988,500	754,140
特別利益		
固定資産売却益	4,057	—
店舗立退料収入	10,430	—
工事負担金等受入額	10,000	—
その他	1,972	—
特別利益合計	26,460	—
特別損失		
固定資産除却損	5,484	1,648
解約違約金	2,462	—
その他	6,482	—
特別損失合計	14,429	1,648
税引前中間純利益	1,000,530	752,491
法人税、住民税及び事業税	351,343	239,313
法人税等調整額	19,279	16,617
法人税等合計	370,622	255,931
中間純利益	629,907	496,560



## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	1,000,530	752,491
減価償却費	166,423	180,979
のれん償却額	22,402	9,379
社債発行費償却	19,179	21,215
その他の償却額	24,685	24,812
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,642	△813
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,272	6,168
受取利息及び受取配当金	△922	△12,218
支払利息	32,873	49,568
有形固定資産売却損益 (△は益)	△4,057	—
店舗立退料収入	△10,430	—
その他の特別損益 (△は益)	△11,972	—
固定資産除却損	5,484	1,648
解約違約金	2,462	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△145,647	△146,312
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△13,579	△2,531
未収入金の増減額 (△は増加)	△12,314	△12,364
その他の資産の増減額 (△は増加)	△79,123	△73,620
仕入債務の増減額 (△は減少)	48,924	51,252
未払金の増減額 (△は減少)	46,011	125,033
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△159,354	△43,866
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	29,223	9,676
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	80,443
その他	9,815	△710
小計	980,245	1,020,234
利息及び配当金の受取額	922	12,218
利息の支払額	△31,311	△48,476
法人税等の支払額	△406,451	△235,981
助成金の受取額	1,707	—
店舗立退料の受取額	10,430	—
解約違約金の支払額	△2,462	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	553,080	747,993
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△427,022	△255,240
有形固定資産の売却による収入	5,000	—
無形固定資産の取得による支出	—	△2,252
敷金及び保証金の回収による収入	48,919	8
敷金及び保証金の差入による支出	△47,404	△211,605
長期前払費用の取得による支出	△13,393	△18,045
預り保証金の受入による収入	12,860	6,404
預り保証金の返還による支出	△18,158	△3,593
その他	△6,266	182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△445,465	△484,141
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,200	△66,640
長期借入れによる収入	1,006,000	3,900,000
長期借入金の返済による支出	△1,139,217	△1,211,345
社債の発行による収入	581,342	—
社債の償還による支出	△400,000	△441,000
リース債務の返済による支出	△55,160	△44,621
ストックオプションの行使による収入	—	1,666
配当金の支払額	△320,000	△605,173
財務活動によるキャッシュ・フロー	△320,834	1,532,886

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△213,219	1,796,738
現金及び現金同等物の期首残高	6,497,135	10,660,027
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,283,915	12,456,766

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。